



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要						
建物名称	キョウデンプレジジョン工場拡張プロジェクト	BEE	0.9	BEEランク	B-	★★

2. 重点項目への取組み度						
重点項目	得点*/満点		取組み度		評価	
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.2	/5			ふつつ	
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	3.1	/5			ふつつ	
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.6	/5			がんばろう	
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.5	/5			がんばろう	
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)			評価 凡例	よい 4 点以上	ふつつ 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要			内訳対応項目			
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。						
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)			得点		3.2	
	■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) 窓SC:0.375、U=3.62W/mK、外壁U=1.00W/mK	Q-1 2 2.1 2.12 ① Q-1 3 3.1 3.13 ② 3.2 3.21 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔			
	■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上			
	■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) BPIm=0.76	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制			
	■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避)	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.2 2.3 2.4 2.5 2.6 3 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒			
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善				
"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)			得点		3.1	
	■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性)	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備			
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)			得点		2.6	
	■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり)	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑳ 3.1.2 ㉑	⑱⑲ ユニバーサルデザイン計画 ⑳ 階高のゆとり ㉑ 空間の形状・自由さ			
	■室外環境(敷地内)対策 (㉒地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	㉒ 地域性への配慮、快適性の向上			
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)			得点		2.5	
	■室外環境(敷地内)対策 (⑳生物環境の保全と創出/㉓まちなみ・景観への配慮/㉔敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 2 3 3.2	⑳ 生物環境の保全と創出 ㉓ まちなみ景観への配慮 ㉔ 敷地内温熱環境の向上			
	■敷地外環境対策 (㉕持続可能な森林から産出された木材/㉖温熱環境悪化の改善)	LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	㉕ 持続可能な森林から産出された木材 ㉖ 温熱環境悪化の改善			

CASBEE[®] - 建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v4.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	キョウデンプレジジョン工場拡張プロジェクト	階数	地上3階
建設地	静岡県伊豆の国市白山堂字下ノ田304	構造	S造
用途地域	都市計画区域内、市街化調整区域、法	平均居住人員	151人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600時間/年(想定値)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年10月 予定	評価の実施日	2021年12月17日
敷地面積	9,435 m ²	作成者	榊設計
建築面積	2,087 m ²	確認日	2021年12月17日
延床面積	5,615 m ²	確認者	榊設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.9 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記②以外のオンサイト手法 ④上記+オフサイト手法

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.1

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.8

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合 既存工場との統一感を考慮 これはCASBEE静岡2016年版による評価結果です。		その他 狩野川氾濫を想定し高床としたキュービクル・受水槽置場
Q1 室内環境 昨今の状況を鑑みた十分な換気量の確保 適切な照度を確保し工場の生産性に寄与	Q2 サービス性能 従業員のリフレッシュスペースを十分に設置 耐震性および更新のしやすさを考慮した配管	Q3 室外環境(敷地内) 既存工場と色調を揃え一体感のある立面計画
LR1 エネルギー 外皮の熱負荷を抑制するため複層ガラスを採用	LR2 資源・マテリアル 解体時、躯体と仕上げが容易に分別できる	LR3 敷地外環境 充実した駐輪場・駐車場の設置

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照されたい